

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	橋本市立清水小学校	太田 真由美
学校所在地		
(〒 648 - 0041) 和歌山県橋本市清水2014 tel 0736(32)0307 fax 0736(32)0460		
担当者名		役職名・担当教科
川口 歩		教諭
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について登録されている黒河道を校区に含んでいる。また、高野街道沿いに発展した校区には、史蹟や古い街並みが多く残っている。また、国の伝統工芸品に指定されている紀州へら竿も盛んである。そして、生活科、総合的な学習の時間を中心にふるさと学習に取り組んでいる。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 9名	職員 2名	高野山
実践研究テーマ		
主体的に活動に取り組み、互いに学び合い伝え合う児童の育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	地域から学ぶ「高野山」	
<p>〔キーワード〕</p> <p>世界遺産学習・情報活用能力・環境教育・SDGs（持続可能な発展目）</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産になった「高野山」を探索し、地域の歴史遺産への関心を持ち、高野山の歴史的価値について学ぶ。 ・地域の歴史的遺産を調べることで、地域の歴史的価値を見だし、地域に対する思いを深め愛着をもてるようにする。 		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 30 時間 （「 地域にある世界遺産（高野山）について学習しよう。」 13時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県世界遺産センター…次世代育成事業（世界遺産入門、現地学習） ・世界遺産マスター…次世代育成事業（現地学習） 		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1・2、世界遺産について調べる。	・世界遺産とは何か。どんな世界遺産がどこにあるかなどについてパソコンで調べ、ワークシートにまとめる。	・単元の活動について、興味を持つ事ができている。 (発言・ワークシート)
2	3・4、世界遺産の種類や数、危機遺産についてタブレットで調べ、パワーポイントにまとめる。	・グループで担当するところを決め、タブレットでまとめる。 ・パワーポイントへのまとめ方について指導する。	・パワーポイントにまとめられている。 (パワーポイント)
3	5、まとめたことを発表し、自分の感想を書く。	・グループで協力して発表する。 ・各班の発表を聞き、「世界遺産」と「高野山」について自分の感想をまとめる。	・友だちの意見をきちんと聞いて、自分の感想をまとめている。 (発言・態度)
4	6～10、現地見学を通して、高野山について学ぶ。 11、高野山についてまとめる。	・次世代育成事業に参加し、高野山についてメモを取りながら見学させる。 ・写真やパンフレットを活用して、グループでパワーポイントにまとめる。	・教えてもらったことやパンフレットを参考に、協力しながら積極的にまとめている。(発言・態度)
5	12、5年生へ発表し、自分の感想を書く。 13、黒河道に対して自分達ができることを考える。	・グループで協力して発表する。 ・各班の発表を聞き、「世界遺産」と「高野山」について自分の感想をまとめる。	・発表したりする活動に参加している。・友だちの意見をきちんと聞いて、自分の感想をまとめている。(発言・態度)
〔单元学習の成果と課題〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの和歌山県にある高野山が世界遺産に登録されていることもあり、子ども達は興味を持って調べ学習ができたり、歴史ある高野山を見学したりすることができた。 ・世界遺産講座や世界遺産マスターから教えていただいたことやパンフレットを活用して、友達と協力してパワーポイントにまとめることができた。 			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産である「高野山」を、自分たちの足で歩いて見学した事が子ども達にとって貴重な体験であり、世界遺産を身近に感じるきっかけになった。 ・高野山という歴史的遺産を大切にしていこうという意識をもてた。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産や守り、未来に残そうと取り組まれている方の努力や活動・その願いにも迫りたかった。そうすることで、子供たちにとって自分にできることを考えるきっかけになればいいと思う。 			

様式 2

令和7年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

世界遺産の学習で高野山に行き、午前は、高野山についての説明を聞きながら、壇上伽藍～金剛峯寺を歩きました。また、午後からは、奥の院の説明を聞きながら、歩きました。



(児童の作文より)

・奥の院にいきました。たくさんお墓があり、歴史に出てくる人物もいました。また、松の木が多く二酸化炭素をよく吸ってくれるそうです。ぼくは、こう言うのも世界遺産に登録される理由の一つだと思いました。ぼくは高野山についてたくさん知ったのでこれからも世界遺産について調べていきたいと思いました。

・私は寺の中で一番根本大塔がすごく心に残っていて、根本大塔は結構大きい建物で迫力がすごく呆気にとられました。四二メートルもあると知ってびっくりしました。中には大日如来様と右と左にも銅像があったり、有名な八人のお坊さんの絵がありました。高野山を開いた人は空海というお坊さんらしいので、その人は大仏を作ったりいろいろしてすごいと思いました。空海さんのおかげでこのような歴史ができたのだとわかりました。

・「高野山も世界遺産なんだー」と思っていたけど、行って教えてもらおうと寺や神社などがたくさんあって高野山はすごいところなんだとわかりました。初めて知ったのは近畿地方の国宝の数です。1位は東京だけど、2～6位まではすべて近畿地方でそのうちの6位は和歌山県だったことです。近畿地方は国宝が一番多いのは初めて知ったし、すごいことだと思いました。

・壇上がらんにある六角きょうぞうに行きました。そこには、ハンドルがあって、それを一周回すと、三千枚のおきょうをマスターすることができます。ぼくも一周回してマスターしました。壇上がらんには、木でできている建物もあるので、その仏像の本物は霊宝館にうつして、レプリカを置いたり、ドレンチャーという、スプリンクラーと同じ役割をするものが配置されていると知りました。ドレンチャーは年に一回消防署が点検などを行っているとも知りました。

金剛峯寺



壇上伽藍



奥の院

